

万が一の災害に備えて 猪苗代町総合防災訓練



1 応急救護所設置訓練の様子。医師が負傷者の重症度により、治療の優先度を定める「トリアージ」を行っている 2 赤十字奉仕団と陸上自衛隊による応急救護訓練 3 はしご車による救助訓練 4 放水訓練を行う町消防団第2分団の団員 5 消火器による消火体験を行う翁島小児童



猪苗代町総合防災訓練は9月21日、翁島小学校で行われました。訓練には、町消防団や猪苗代消防署、猪苗代警察署、陸上自衛隊などの関係機関のほか、地域の自主防災組織や翁島小学校の児童、教員など合わせて約370人が参加しました。

訓練は、台風による大雨と河川の氾濫、土砂崩れなどの災害発生に加え、大地震による建物倒壊や建物火災などを想定して実施し、災害への備えを確認しました。

翁島小学校の会場では、震度6弱の地震発生を想定し、児童が机の下に避難した後、速やかに校庭へ避難。続いて、避難確認がとれなかった職員をドローンを使って捜索。はしご車の出動を要請し、屋上から降りられなくなった職員を救出しました。

また、三城潟、新在家、西久保区自主防災組織や町立猪苗代病院の皆さんが参加して、地震による負傷者を救助する応急救護所設置訓練などが行われたほか、会場内には大雨や煙の発生を体験することができ、コーナーが設けられました。

このほかにも、水防訓練や応急救護訓練などが行われ、参加者は緊張感をもって訓練に取り組み、防災への意識を高めました。

教育に関する事務の管理と 執行状況の評価結果を公表

町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、30年度における教育に関する事務の管理と執行状況について、外部の学識経験者による点検・評価を実施しました。このほど評価の結果がまとまり、9月町議会定例会に提出しました。

評価結果の概要についてお知らせします。

●すべての項目で「期待どおり」以上の評価

次に掲げる3部門の重点事項15項目について評価をいただきました。

- ①学校教育の分野では、充実した活力ある学習環境の整備など4項目
- ②幼児教育の分野では、充実した活力ある学習環境の整備など5項目
- ③生涯学習の分野では、「豊かさ」と「活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造6項目

以上の項目に関して、A～Eの5段階評価を行った結果、次のようになりました。

Aなし、B11項目、C14項目、D1なし、E1なし

【評価基準】A11期待以上、B11やや上回る、C11期待どおり、D1やや下回る、E1期待以下

●具体的な意見の内容

▼充実した活力ある学習環境の整備

人的環境整備についても取り組むこと。

統合中学校整備による緊縮財政がないよう進めていただきたい。

▼「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援

安全に関する研修をリピートして行うことで「安全の質」を高めていただきたい。

▼生徒指導に関し、一生懸命取り組んでいたと感じられる。

▼「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援

一人一人の状況に応じたしつかりとした考え方を点検しながら指導に当たっていただきたい。

▼「健やかな体」をつくる教育活動の推進、支援

子どもたちの体力、運動能力

の増進に向けての課題や分析を行うこと。

▼「家庭の教育力」の回復

家庭事情が多様化しているため、警察、児童相談所などとの連携を図りながら対応願いたい。

▼「豊かさ」と「活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造

各種講座のサークル化や本に対する興味を持つ活動実践を望む。また、東京2020に向けた取り組みに尽力願いたい。

総評として、具体的な目標を掲げて進めていくことが肝心であり教育長中心に進めていただきたいとのことでした。

なお、各項目の評価結果については、町ホームページをご覧ください。

▼問い合わせ先

教育委員会 教育総務課
☎(62)5677



町と東京学芸大学の連携事業、同大柏谷恭子教授による英語教育研究会の様子(緑小学校)